

## 交通安全教室 ～自転車シミュレーターを活用して～

熊本県立球磨支援学校

本校では、児童生徒の交通安全への意識を高めるため、定期的に信号機を駐車場に設置して横断指導を行うとともに、2学期に「交通安全教室」を実施しています。今年は、9月12日（月）に、「歩行班」と「自転車班」の2班に分かれ、それぞれ外部講師を招いて実施しました。今回は主に、自転車班の教室の様子を紹介します。

自転車班は、本田技研（株）安全運転普及本部熊本普及ブロックに協力を依頼し、「座学」と「自転車シミュレーターを活用した疑似体験」を行いました。

座学では、交通安全に絶対必要な「ルール」と「マナー」についてクイズ形式で考えたり、自転車安全利用五則について再確認したりして、交通安全とは、「危険をなくし（遠ざける）安心して道路を人や乗り物などが行き来できるようにする事」ということを学びました。

自転車シミュレーターの疑似体験は、代表の生徒4人が行いました。初めてシミュレーターを体験した生徒たちは、走行中にすぐ横を突然追い越していく車や車の陰から出てくる歩行人に驚いたり、交差点での安全確認不足からバイクと衝突事故を起こしたりして、安全確認を怠った際の怖さを実感していました。また、教室終了後には、「シミュレーターで、自転車の安全な利用の仕方が分かりやすかったです。これから交通ルールを実際に守っていきたいです。」と感想を発表するなど、疑似体験を通して、「止まる」「見る」「確かめる」の重要性を実感していました。

交通事故を防止するには、児童生徒が交通安全のルールやマナーを「知っている」ではなく、知っているの小さな「っ」をとって、実際の場面で「している」にすることが求められます。今後も本校では、児童生徒が交通事故の被害者、そして加害者にならないよう、家庭、地域及び関係機関と連携を図りながら交通安全教育を実施していきます。



【歩行班】警察官による指導の様子



【自転車班】普及ブロックリーダーによる座学



自転車シミュレーター疑似体験の様子